

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 48 週 平成28年11月28日 ~ 平成28年12月4日

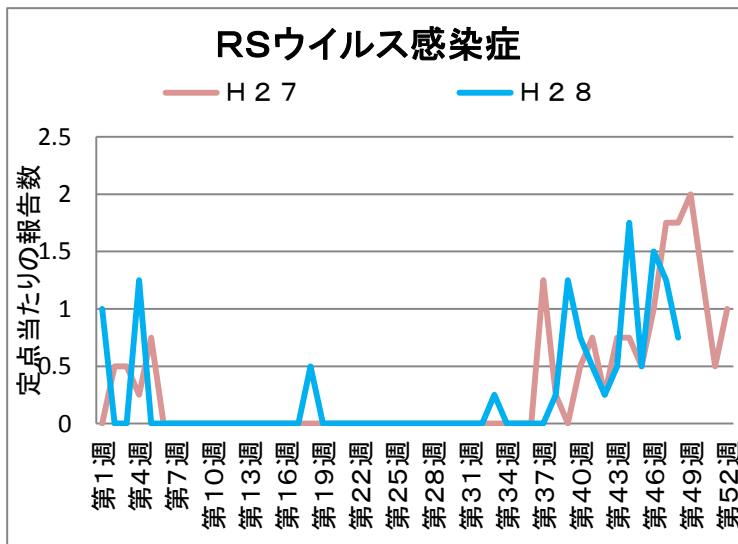
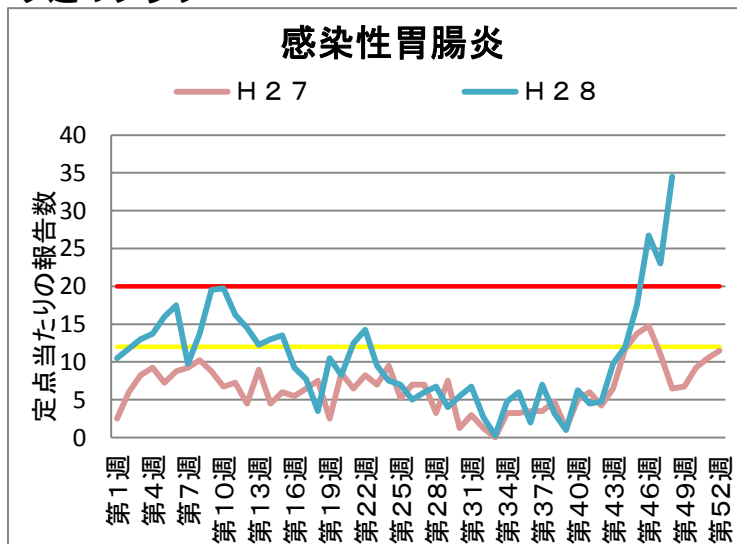
## 今週のコメント

○ 感染性胃腸炎の報告が、さらに増加し、昨シーズンのピークの2倍を超えました(定点あたり34.5件)。昨年、国内で、例年とタイプの異なるウイルス(=新型ノロウイルス)が確認されており、新しい型のウイルスには多くの人が免疫を持たないため、例年以上に感染している方が増えている可能性があります。

○ 新型でも症状は同じで、予防方法も変わりません。感染予防のために、3つのポイントに注意しましょう。①手洗い(トイレの後、食事の前などにしっかりと石けんと流水による手洗い) ②食中毒の予防(食品の加熱など) ③適切な嘔吐物・便の処理(塩素系消毒薬による消毒) 詳細は「ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)」をご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

## 今週のグラフ



\* 赤線は流行警報基準値です 黄線は警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当りの報告数	疾病名	定点当りの報告数
インフルエンザ	0.29	手足口病	0.25
RSウイルス感染症	0.75	伝染性紅斑	0.25
咽頭結膜熱	1.5	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	34.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.5	流行性耳下腺炎	1

定点当りの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病)：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

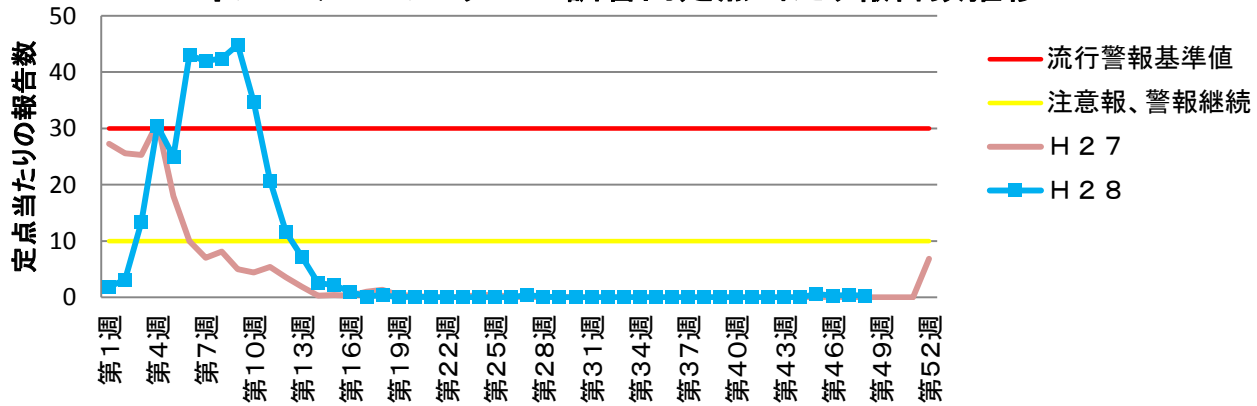
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

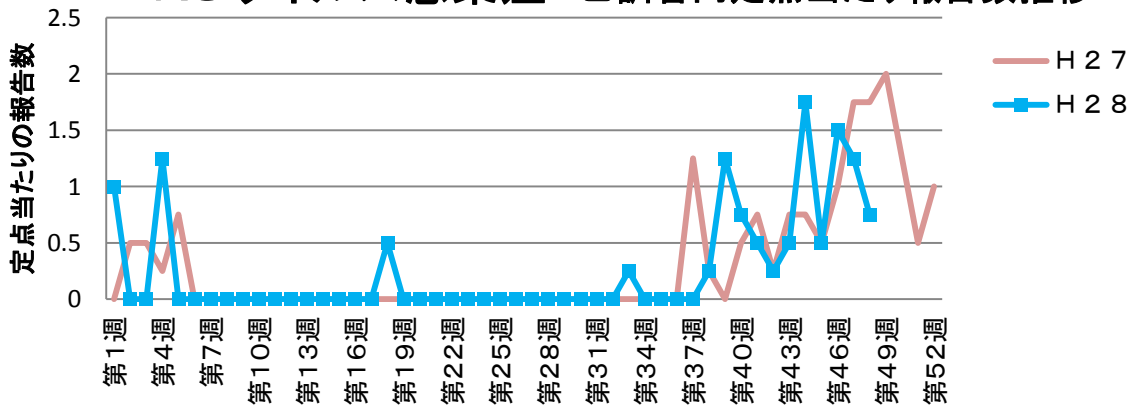
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

## 定点報告による各疾病の推移

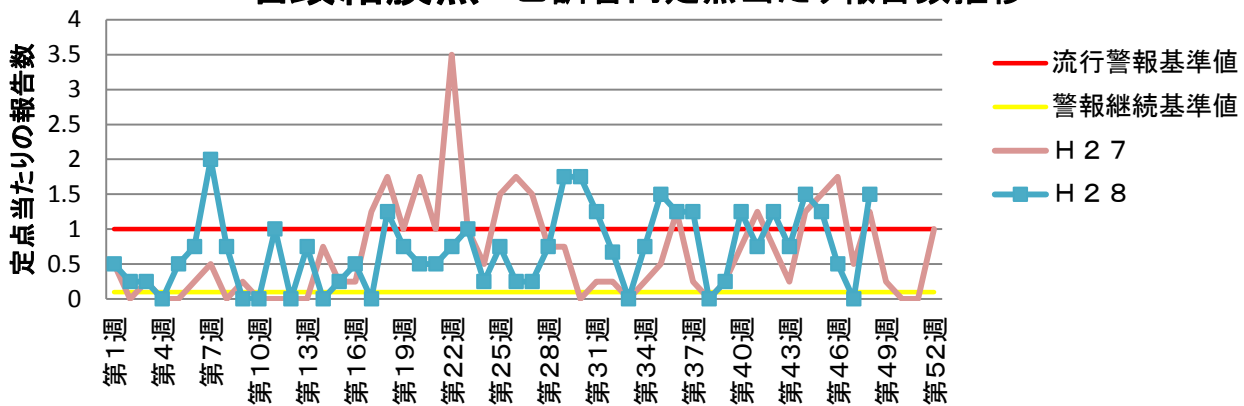
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



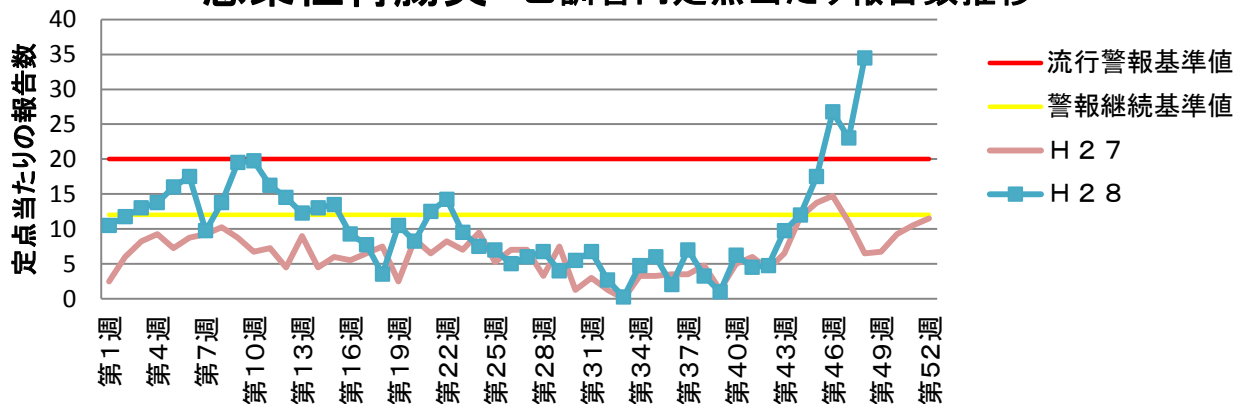
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



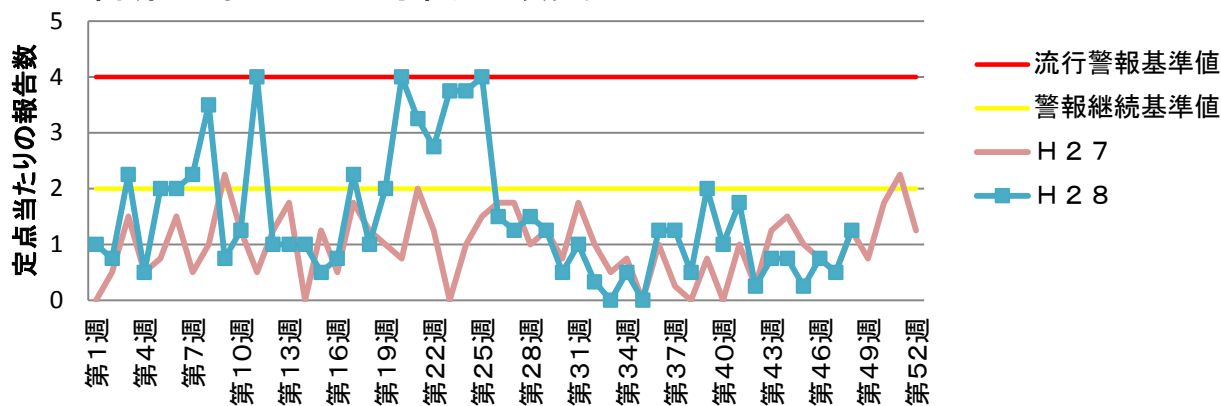
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



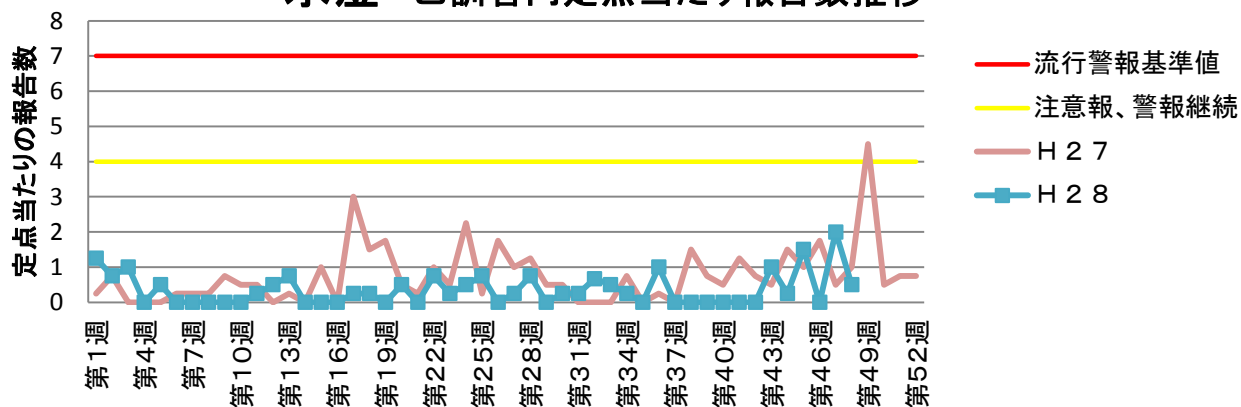
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



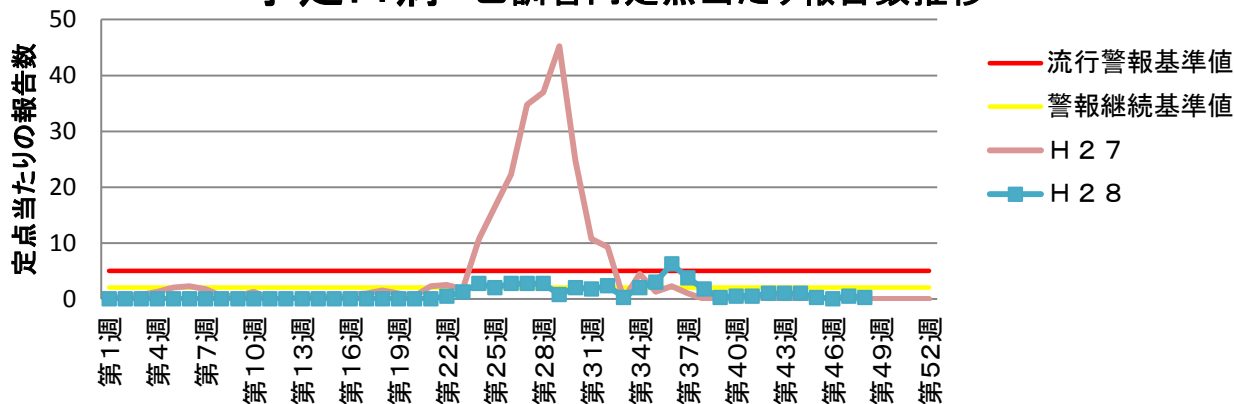
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



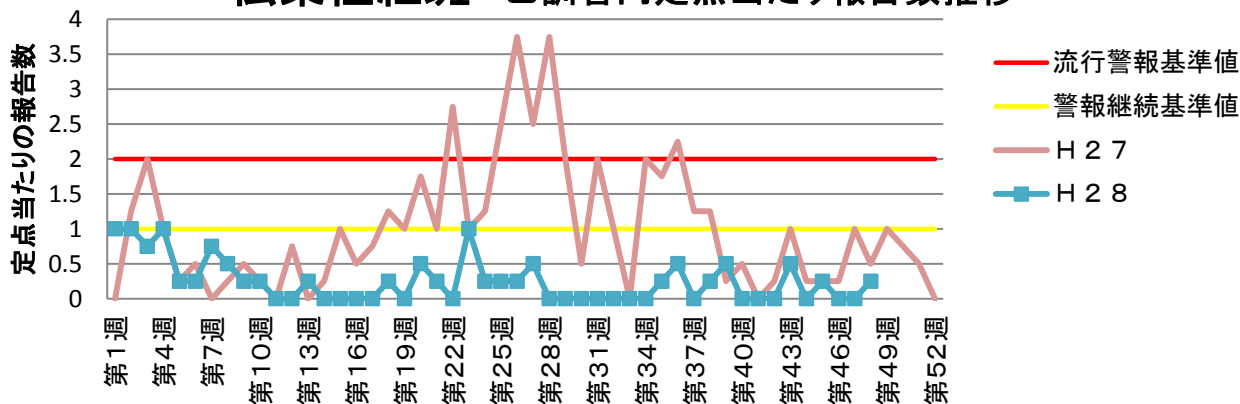
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



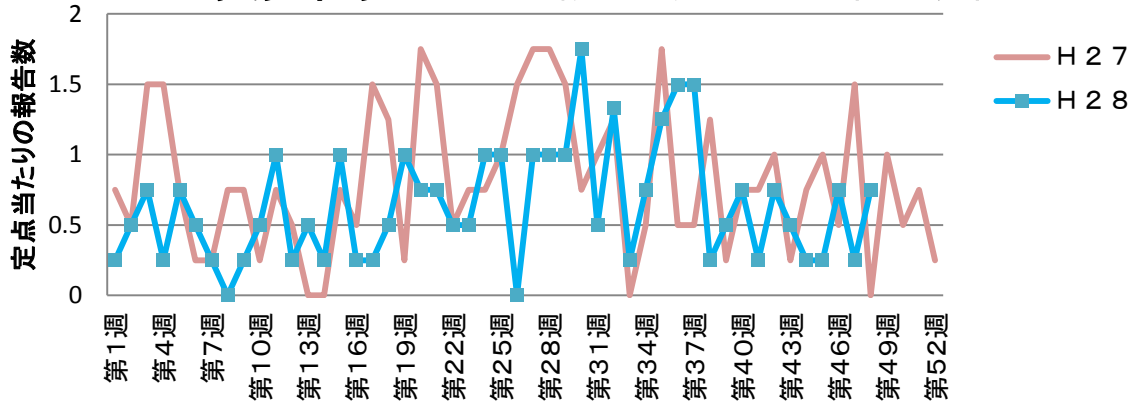
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



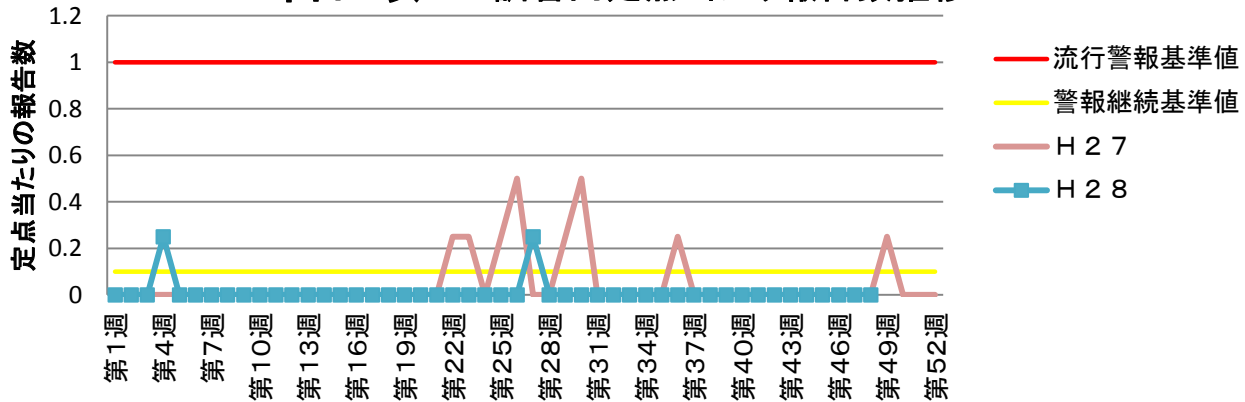
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



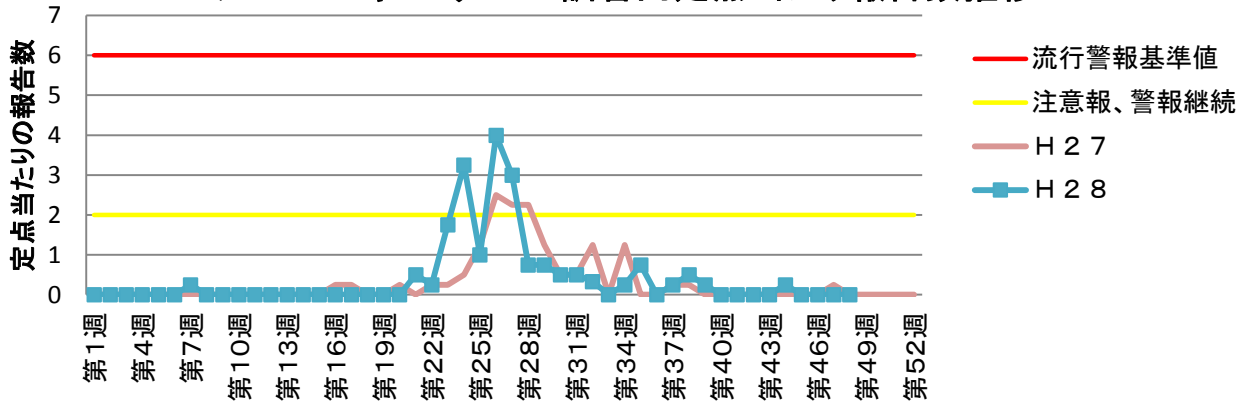
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

